

令和 6 年 5 月 10 日
海 事 局

日中間で適切な国際ルールの策定・実施に向けた連携促進 ～5年ぶりに「日中検査課長会議」を日本（福岡）で開催～

国土交通省海事局（団長：鈴木 長之 検査測度課長）は、令和 6 年 4 月 24 日（水）、中国海事局（団長：Mr. Liu Leida 船舶監督処副処長）との間で、5 年ぶりに「日中検査課長会議」を福岡市で開催しました。

今回の会議では、寄港国検査（ポート・ステート・コントロール（PSC））、国際的に重要な船舶の安全・環境対策における課題等について、意見交換及び情報共有を行い、今後も連携を強化することが確認されました。

この会議は、平成 16 年（2004 年）に中国・大連で第 1 回会議を開催して以来、主要海運・造船国である両国が、国際的な船舶の安全基準及び海洋環境保護、PSC における協力関係の維持・構築のため、日中間で交互に開催しているもので、今次会合は 16 回目の開催になります。

今回の会議の主な成果は以下のとおりです。

1. PSC 現場における現状と課題について問題意識を共有し、日中間で検討を進めることに合意
2. 国際海事機関（IMO）における海上安全及び海洋環境のルールの策定及びその実施に関し、実効的かつ合理的なものとなるよう日中間で連携を強化していくことに合意

個別の内容については別紙をご参照下さい。



第 16 回「日中検査課長会議」の様子



問い合わせ先：海事局

（会議全般・PSC 関係）総務課外国船舶監督業務調整室 吉田、古賀
03-5253-8111 (43-177)、03-5253-8639 (直通)

（海上安全関係）安全政策課船舶安全基準室 太巻
03-5253-8111 (43-568)、03-5253-8631 (直通)

（海洋環境関係）海洋・環境政策課環境涉外室 金子
03-5253-8111 (43-914)、03-5253-8118 (直通)

<個別の内容>

(1) PSC 関係

両国の PSC 実施状況について相互の検査実績などの具体的データを示しつつ情報交換するとともに、中国におけるケミカルタンカーの安全対策について聴取しました。

また我が国が提起した、PSC において確認される船員の資格（海技資格）の裏書証明書に係る課題について意見交換を行い、今後も引き続き情報共有を行うことにより、解決策を検討していくこととなりました。

(2) 海上安全関係

IMO において、現在、自動運航船（MASS）に関する新たなルール「MASS コード」の策定が進められており、有志国が主導して各章の要件案をまとめているところ、我が国は航行分野を主導し、当該コード策定に積極的に貢献してきました。今回の会議では、IMO における MASS コードについて引き続き検討していくことを呼びかけ、協力して取り組むことを確認しました。

(3) 海洋環境関係

昨年 7 月に IMO が国際海運からの世界共通の温室効果ガス（GHG）削減目標等を盛り込んだ「2023 IMO GHG 削減戦略」を採択したことを踏まえ、当該目標達成のために導入される更なる対策（中期対策）等について、我が国からの呼びかけにより、今後の IMO での議論において引き続き両国が協力して取り組むことを確認しました。

また、現在 IMO で議論されている海洋汚染の防止に係るルール（バラスト水の管理方法、排ガス洗浄装置からの排水に係る排他的経済水域への新たな規制、汚水処理装置からの処理水に係る規制強化）に関して、合理的かつ効果的な規制を導入するため、我が国からの呼びかけにより今後の IMO での議論において両国が協力して取り組むことを確認しました。

(4) その他

両国の船級協会（日本海事協会と中国船級社）からも代表者が参加し、両協会が行っている登録船舶の安全・環境保護等の確保に関する具体的活動について報告されました。